



新年特集号

じちろ5

自治労中央機関紙

発行所

全日本自治団体労働組合
東京都千代田区六番町1
TEL 03 (3263) 0273
FAX 03 (5210) 7422
定価一部30円1年間900円
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

クイズです。

さて、解決できた問題とは
なんぞでしょう？



ある病院では「真実の口」を設置したことで、
一つの問題を解決することができました。

答えは
中面に記載

労働組合に限界はない 仲間とチャレンジし実り多き一年に

謹賀新年



全日本自治団体労働組合
中央執行委員長

川本 淳

あけましておめでとうございます。
仲間が困ったとき、職場や地域で抱えている問題があったとき、私たちの先達たちも仲間を助けるため、それらの問題を解決するために幾度となくお互いの知恵を出しあってきました。時代は変われども、ともに働く仲間を支え、守る、という労働組合のめざすゴールは変わりません。平時あるいはどんな非常時であろうと、仲間同士がつながり続けることで得られる気づきや生み出される打開策。仲間同士の討論からお互いの価値観を知り、考え方をすりあわせながら作り上げた要求。組合員一人ひとりのそ

した体験の積み重ねこそが、労働組合としての力を発揮することにつながっていくのだと思います。
現状に悩み、あきらめや仕方なさを感じてしまっている組合員や役員の方もいるかもしれません。けれども、決して独りになることはなく、二人でも三人でも仲間に声をかけ、ともに学びあいながら、今ある課題に向かいましょう。そうすれば解決の糸口が見えてくるはずです。解決にむけた方法は一つではなく、労働組合の活動にも限界はありません。みんなで一丸となってチャレンジし、実り多き一年にしましょう。今年もよろしくお願いたします。

新春特別インタビュー

インタビュー

自治労青年部長 兒玉 聖史

「させる」から「そそる」へ 「仕掛け」を使って楽しく問題解決

開いてくださり、ありがとうございます。クイズの答えが気になりますよね。好奇心や遊び心を利用して人の行動を変えるきっかけを体系化した「仕掛け学」という学問分野があることをご存知でしょうか？もししたらこれは青年部としても労働組合運動を盛り上げ、皆さんにとっても働きやすさや豊かな暮らしを考える上で役立つヒントになるのではないかと。そんなわけで「仕掛け学」を立ち上げた松村真宏教授に直接聞いてきました！



大阪大学大学院経済学研究科 教授 松村 真宏さん

1998年大阪大学基礎工学部卒業。2003年東京大学大学院工学系研究科修士(工学)。2017年より大阪大学大学院経済学研究科教授。「仕掛け学」を創始し、仕掛け学の研究・実装・普及に従事。著書は「仕掛け学」(東洋経済新報社)、「人を動かす「仕掛け」」(PHP研究所)、「しかけは世界を変える!!」(徳間書店)、「Shikake: The Japanese Art of Shaping Behavior Through Design」(Liveright Pub Corp.)、「松村式 子育て仕掛け」(主婦の友社)など。

仕掛けは 楽しいと目的達成をもたらす

「仕掛け」と言うと人それぞれが持つイメージがあるかと思いますが、先生の考える仕掛けとは何でしょうか。わかりやすい例と一緒に教えてください。

松村 わかりやすい言葉は、「好奇心や遊び心を利用して人の行動を変えるきっかけ」です。身近な問題から社会の大きな問題までを解決するものであり、「仕掛け」を体系化したものが「仕掛け学」です。

例えば、私たちが考えた仕掛けに「真実の口」(写真)があります。手の中に入れてアルコール消毒がかかる仕組みで、2018年頃に大阪大学病院の入口に設置しました。これを見つけた人は、映画「ローマの休日」に出てくる「真実の口」を思い出して、つい口の中に手を入れたくなってしまいます。そういう心理を生かした仕掛けです。



これを仕掛けた理由は、来院者にウイルスなどを持ち込まないためです。病院では従来から手の消毒を促していましたが、消毒をしてくれた人は1000人に6人程度とくわすかでした。そこで許可を得て実験を始める。と、「真実の口」の前には行列ができるほど、初めの頃は3〜4割の人が消毒をしてくれたそうです。設置期間は2ヶ月半でしたが、来院者が慣れたが、消毒率も約1割。結果としては消毒率が約20倍弱に伸びました。

病院にこんなものがあつたらしくて興味をそそられますね。ほかに教えてください。

松村 簡単なものとしては、一般に販売されている「マジックハンド」です。実験として、路上でビラの入ったポケットティッシュを「マジックハンド」を使って配ったところ、手渡しに比べて5倍以上の人がビラを受け取ってくれました。

実験時期は2020年6月で、国内では新型コロナウイルスに対する恐怖感が強まっていた頃です。接触感染を避けるため、ビラを配布しようとしても、通行人は受をそのまま注意しても効果は出ません。何の関係もなさそうなお互い合わせですが、思わずシュートしたくなるようにいざなうことで、ごみ箱の中に集まるようになります。



職場や労働組合に関して 考えてみた仕掛け

「私たちが職場や労働組合に関する「仕掛け」を考えてみましたので、アドバイスをお願いします。一つめ、1)は、役所の窓口などで利用者が順番を待っているときの退屈感を軽減しようと考えてみました。」

松村 用意されたゲームをやってくれるかどうかですね。そのゲームに誘引性があって「したい」と思わせるものであれば良いと思います。ただ、すぐろくは違うような気がします。他の人と一緒にするゲームとなるとハードルが高いですね。一人でもできるものの方が良いのかもしれないですね。ゲームの対象者は子どもが多いのかもしれないですね。大人にはあまり関心を

図1

公共サービスで働く職員から 住民にむけた仕掛け案

【課題】 役所の窓口などで順番を待たされているときの退屈感、イライラ感
【仕掛け】 すごろくなどのゲームを用意(すごろくのテーマ:自治体の特色などに応じて)
【心理】 知らない人同士でもやりやすい、誰でも参加・途中で交代可能
【結果】 待ち時間が楽しい。面白い・有益な情報を得られる。見知らぬ人との交流

図2

組合運動活性化にむけた仕掛け案

【課題】 自分たちの労働環境改善へのあきらめ感
【仕掛け】 小さなことでも改善できたことを組合員に見えるようにする(写真、イラスト、一覧表など)
【心理】 これまで変えられてきたこと(蓄積)、労働組合の可能性を実感できる
【結果】 改善にむけてチャレンジを続ける

け取ってくれませんか。実験の背景には、「ビラを配って周知しないとお店にお客さんが来てくれない」という深刻な問題がありました。

「わざわざマジックハンドを使って何を配っているのだろうか」と気になりますね。

松村 仕掛けの一番面白いところは、仕掛けに触れる人みんなが楽しくなることにあります。ユーモアに近いですが、ユーモアを狙うことが目的ではありませんし、一歩間違えればいたずらになってしまいます。仕掛けはその中間地点のようなところにあるとも言えます。

先ほど仕掛けについて説明しましたが、もっと正確に言えば、①公平性、②誘引性、③目的の二重性という3つの要件すべてを満たすものを「仕掛け」と定義しています。言い換えれば、①「仕掛けた人」と「仕掛けられた人」の両方が幸せになれるもの、②思わず「〇〇したい!」という気持ちになるもの、③「仕掛けた人」と「仕掛けられた人」の目的が別々にあるもの、です。「真実の口」で言えば、仕掛けた人は「皆に消毒してもらいたい」、仕掛けられた人は「口に手を入れたらどうなるかを確かめたい」という別々の目的があります。このように、結果的に双方が目的を達成することが仕掛けのポイントです。

自発的な行動変容を促して問題解決

「そもそも先生が仕掛け学を考えることになつたきっかけは何でしょうか。」

松村 もともと人工知能を研究していて、コンピュータを使って集めたデータを基に未来予測や意思決定に役立つ知識を発見しようとしていました。とは言っても、すべての事象がデータになっているわけではなく、データそのものの内容が浅く、量が少なければ、それらを分析したところで何の役にも立たないことに気がつきました。そうしたアプローチの限界を超えるためにはデータに縛られないことが必要だと思い、コンピュータを使うのをやめ、問題解決のために何ができるのかを考えていくうちに、「仕掛けを使えばいいのではないか」という考えが芽生えました。

そのように模索していた時に出会ったのが、大阪市にある天王寺動物園に置かれていた筒(写真)で、私が初めて見つけた筒(写真)です。

「面白そうなことだけではなく、対象者の状況も含めて考えないといけないですね。」

松村 例えば、待っている人に高齢者が多ければ、高齢者が好きな手遊びは何か、普段は何をして空き時間を過ごしているのか、などの共通体験を探ってみることが必要ですね。

仕掛けを通じて得られる体験が、体験者の過去の経験や記憶と重ならないければ、仕掛けそのものに気がつかず、反応してくれません。「知っている」「し」「それで楽しんだことがある」という過去の記憶があるからこそ、やってみたいと思うわけですね。これは、仕掛けを考える際に押さえておきたいポイントです。

「ありがたうございます。二つめ(図2)は労働組合への関心や運動への参加を促したいと考えてみました。いかがでしょうか。」

松村 労働環境が改善しつつあることがわかれば、あきらめ感は減少すると思うので、ちゃんと機能しているよ、ということがわかるかどうかですね。ですから、見えるようにするのはとても良いと思います。さらにそれに對するフィードバックをもらえるように、「良かった」「気に入った」ものにハートのシールなどをつけていけば、活動を考えた人も承認欲求が満たされたり、良かったと思うかもしれないですね。オンラインでなくても、ソーシャルメディア化することで「活動していてエライ、認めているよ、ちゃんと見ているよ」ということも見える化すると、活動した人のやりがいにつながるとも思います。

「この課題はスケールが大きすぎて、きつと二つ、二つの仕掛けでは足りないのではないかと感じました。良いアイデアがなかなか思いつかないのが正直なところでした。」

松村 課題はより具体的な方が考えやすいと思います。今回のテーマの場合で言えば、いわゆる「空気を」変えていくしかないということになりそうですよね。そのような流れをつくる風を吹かすということですので、活動を継続してどんどん発信し続けることで活動も盛り上がっていく。定期的に見えるようにすることで、あきらめ感は減っていくのではないかと思います。仕掛けの方向性としては間違っていないと思います。もちろん、課題の細分化は必ずしも必要ですが、その中でも



子どもの顔の高さくらいに設置された望遠鏡のような筒。こういう穴を見つげると、人はついおぞましくみたくなる。その先には象のウンチのオブジェが置かれている。来園者の視点を変える仕掛けの一つだ。(2006年松村さん撮影)

めて見つけた仕掛けでした。2006年のことです。これが大きなきっかけになり、大事な人には気が付かせることと、そのための仕掛けをデザインすればいいことに気が付きました。それ以来、集めた仕掛けは数万件になります。

「何のために仕掛けをデザインするのでしょうか。」
松村 問題解決のためです。実は、社会の問題のほとんどは人間の行動が作り出しています。逆に言えば、人間の行動が変われば解決する問題が山ほどあるということです。ですから、問題解決のためには人の行動を変えることが最も効果的なアプローチになります。

ただ、人の行動を変えるために正論を述べても、正論が通じない人がいます。そうした人に対して正論で注意をするのは筋が悪いですよね。正論が通じていたら問題そのものが起きていないはずだからです。しかし、多くの人は正論によって人の行動を変えさせようとしがちです。また、正論だけじゃない世界は思慮深いです。「正論を言われない」と思っている人もたくさんいるはず。ですから結果的に、効率が悪く、注意された方は不快な思いをして、注意する側も楽しくない。何も良いことがない。そう思うと、他の方法を模索して異なるアプローチがあつた方が良いのではないかと思います。

「仕掛けでは、仕掛けた人も仕掛けられた人も楽しい気持ちになりますね。思わず「〇〇したい」と感じさせる背景には何かがあるのでしょうか。」

松村 遊び心や好奇心です。それが仕掛けの一番の原動力になります。人に動いてもらいたかったら、「〇〇しなさい」と強制的に行動を促すのではなく、その人が「やってみたい」と思ってもらった方が効果的なのです。そうした自発的な行動変容を促すためには、遊び心が欠かせません。

例えば、バスケットゴールのついたごみ箱(写真)も仕掛けの一つで、何十年も前からある有名な事例です。「ごみのポイ捨てはだめ」と誰もが頭ではわかっていることでも重要な部分を定めてその一つに対して仕掛けを考えたいと思います。問題を解決するには、起こしたい行動を具体的に考えて、行動がどう変わればいいのかを明らかにできれば、仕掛けは考えやすくなると思います。

「失敗するから進歩する」

「私たちがこれから新しい仕掛けを考えていく上でのアドバイスをお願いします。」

松村 仕掛けを考える際には必ずしも実験をしますが、実際には失敗がどうしても多く、難しさがあります。最初から成功する例は少なく、実験を繰り返して、考えてみてわからないことはわからないので、場合によっては聞き取りもします。途中で終わってしまったら失敗ですが、「失敗するから進歩する」ので、どんどん失敗したらいいと私は思っています。「失敗しない」ということは、挑戦しない」ということ。失敗が多い方が挑戦を多くしていることになりそうです。さまざまなことに失敗している人は偉い、という評価軸を導入したらいいのではないかと考えています。

仕掛けを考えるときには、正論は絶対に使わないことも重要なポイントです。結果的に啓発された行動をとってしまっているということが、仕掛けのめざしている方向です。自分の行動が「間違っている」と言われると、とても不快ですが、変わった自分の行動が社会的に正しいと認められると「良いことをした」と感じられますので、行動が定着していきます。

「仕掛け」が広がることで、家庭や仕事などのさまざまな場面においても目的に応じた仕掛けづくりのヒントを得ていただけたら幸いです。問題解決にむけたアプローチとして、ぜひ仕掛けを使って、人の行動を「させる」から「そそる」ことにチャレンジしてみてください。

「とても効果的で素敵な問題解決のアプローチだと思いました。どうもありがとうございました。」



2023年
お年玉
クイズ
クロスワードパズル
CROSSWORD
PUZZLE

しっかりと連携し 目標に向かって邁進しよう!

2023年は、3月のワールド・ベースボール・クラシックを皮切りに、7月にFIFA女子サッカーワールドカップ、9月にはラグビーワールドカップとチームスポーツの世界大会が目白押しです。チームスポーツにはチームメイト間のコミュニケーションが必要不可欠。そこには言葉を使った言語的コミュニケーションと、「阿吽の呼吸」といわれるような言葉を介さない非言語的コミュニケーションの2つがあり、勝つためにはいずれも大切だとされています。私たち組合員もさまざまな「勝利(目標)」に向け、2つのコミュニケーションを活用し、今年もしっかり連携していきましょう!

正解者の中から

101人

の方に下記の賞品を

プレゼント

問題 Question
の中に入る
文字はなんでしょう?

*「ツ」「ヨ」などの小文字は大文字と同様に扱います。

1	2	3			4		5	6	7		8
9				10			11				
		12				13				14	
	15			16	17		18	19			
20			21		22		23		24		
25			26	27		28	29			30	
		31				32				33	
34	35			36	37		38	39			
	40		41		42		43		44		
45			46	47		48					49
		50				51			52	53	
54				55			56				

ANSWER

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

タテのカギ

- 1 悲しいとき、目からポロリと流れるもの。
- 2 料理で〇〇焼きとは、材料を調味料にしぼく浸してから焼くこと。
- 3 停車駅が少なく、急行列車のスピード最上位に位置する列車。
- 4 木工家具をコーティングする塗料。
- 5 本番の前に念入りに〇〇〇練習。
- 6 番組や舞台を陰から支える人たち。緑の下の力持ち。
- 7 トレーニングを行うための施設。
- 8 「週」を英語でいうと?
- 10 九九などをまるまる覚えること。
- 13 着物姿に似合う履物といえば、雪駄や下駄やコレ。
- 14 「母音」の対義語です。
- 15 ピヨピヨ、大きくなったら鶏に。
- 17 板やストックを使ってゲレンデを滑降するスポーツ。
- 19 木で井の字の形に組んだ井戸の縁。
- 20 収入がコレを上回ったら黒字に。
- 21 国の法律にもとづいて認定される資格。〇〇資格。

- 23 天ぶらのサクリ部分。
- 27 磁器で有名な佐賀県の町といえば?
- 29 「プロセス」のこと。
- 30 この魚の卵はカズノコです。
- 31 隠して知られたくない事柄。
- 32 T〇〇〇、Y〇〇〇、ランニング〇〇〇。衣料品です。
- 33 控室にいる芸人に「そろそろ〇〇〇です」。
- 35 フィリピン共和国の首都。
- 37 事務所やお店などが別の場所に引越すこと。
- 39 地中に埋蔵されている鉄鉱、石炭、石油などのこと。
- 41 この虫の繭から絹糸をとります。
- 43 サンドペーパー=紙〇〇〇。
- 45 札読み担当が一人必要な札取り遊び。
- 47 人や物が発する独特な雰囲気や魅力。「あの人には〇〇〇がある」。
- 49 複数人が集まって言葉を交わすこと「〇〇〇が弾む」「英〇〇〇を習う」。
- 50 コンパスでグルッと〇〇を描く。
- 51 かた焼きそばにトロ〜りとかける。
- 53 前田利家は〇〇百万石の祖。

ヨコのカギ

- 1 ネバネバが特徴の大豆発酵食品。
- 4 徳川慶喜が大政奉還を表明したお城で、京都が誇る世界遺産のひとつ。
- 9 「既決」の反対のこと。
- 10 今日が過ぎてやって来るもの。
- 11 新聞や雑誌のちょっとした困み記事のこと。
- 12 天気予報で「今日は昨日より〇〇〇が低く、冷えこむでしょう」。
- 13 減少とは反対の状態。
- 14 アルファベット文字の三番目。
- 15 「例え」をうまく使った表現。
- 16 2で割り切れない整数。
- 18 学校で運動などをする教科。
- 20 論より〇〇〇〇さ、百聞は一見に如かずだね。
- 22 江戸〇〇〇は、ヨーロッパのカットグラス技法を取り入れた伝統工芸品。
- 24 勝負前にコレを担ぐ人もいる。
- 25 カ士がドスコイと踏む。
- 26 旅行会社などが企画する団体旅行のこと。

- 28 道路脇の空きスペース。
- 31 赤&緑&青は「〇〇〇の三原色」。
- 32 舞台で見物席から見て右は上手、では左は?
- 33 芸の道などを師匠から教えを受ける人。
- 34 簡単に食べられる酒のお供。
- 36 一輪車はひとつ、三輪車にはみつつ。
- 38 相撲の一勝負のこと。結びの〇〇〇〇。
- 40 毎日必ずすること。朝のラジオ体操が〇〇〇〇です。
- 42 作業や勉強、遊びなどで、一晩中寝ないでいること。
- 44 ピンツ!と直感的に働くもの。〇〇が冴えてるね。
- 45 コレを破ってヒナが誕生。
- 46 プラスかマイナスの電荷を帯びた原子、または原子団。
- 48 お札にウツスラ、紙幣の偽造防止加工。
- 50 カラオケでマイクにこの機能をかければ音声は反響します。
- 51 働き者の代名詞となっている昆虫。
- 52 高所から見た地上。山頂から〇〇〇を見おろす。
- 54 水泳で端壁からの折り返しのこと。
- 55 〇〇〇盤はルネサンスの三大発明のひとつ。
- 56 ヒラメやカレイのヒレを動かす部位。この刺身はコリコリとした食感が好まれる。

賞品

特賞	パナソニック プライベート・ピエラ 防水テレビ	1人
1等賞	日立 パワフルスティック	2人
2等賞	象印 スタン IH炊飯ジャー	5人
3等賞	今治産製 極上タオル スーベリアルタオルケット2枚セット	7人
4等賞	タニタ 体組成計	10人
共済賞	サーモス 真空断熱カップ2個セット	76人

応募方法

- ①クイズの答えをはがきに明記し、右記へお送りください。
- ②所属する組合の都道府県名、③所属する組合名、④自宅の住所、⑤電話番号、⑥お名前(差し支えなければ年齢・性別)、⑦自治労本部、じちろう共済の活動に関するご意見・ご感想もお書き添えください。
- 当選者の発表は3月11日号に掲載いたします。

当選された方は自治労の印刷物などの媒体で組合名・お名前・ご意見をご紹介します場合があります。また、当落にかかわらず、ご意見を都道府県名・年齢・性別とともに、こくみん共済 coop(全労済)自治労共済推進本部の印刷物などの媒体でご紹介することがあります。あらかじめご了承ください。

締切
1月31日(火)
必着

①クイズの答え
②所属する組合の都道府県名
③所属する組合名
④自宅の住所
⑤電話番号
⑥お名前
(差し支えなければ年齢・性別)
⑦ご意見・ご感想

63 1028787
自治労本部共済推進委員会
「お年玉クイズ」係
越前郵便局留

※はがきの郵便料金は63円です。ご注意ください。
※締切には余裕をもってお送りください。